

さつきやま魂

崎山中学校だより
四月十日 第1号
文責 校長 山下



平成三十一年度スタート！

八日に始業式を行い、平成三十一年度（五月からは令和元年度）が始まりました。新しい気持ちで登校した子どもたちは、一人ひとりを輝かせていました。式で次のような話（抜粋）をしました。「今年の崎中キーワードは、『チームさつきやま』チーム一丸となって、さらに素晴らしい崎中にしていこう。さつきやま魂を实践・継承するためには、自分を信じるのが重要。自分の可能性を信じ、仲間を信じ、いろいろなことにトライしてほしい。」

学年を代表して、新二年生の入江柚月さん、新三年生の川端莉吏さんが新年度の抱負を発表しました。二人とも勉強（特に自主学習）と部活動の両立を目標にしています。また、あいさつ・返事にも力を入れたいと述べました。どれも、さつきやま魂を意識した実践です。先輩として、強い決意を感じました。

入学おめでとう！

始業式の午後からは、多数の来賓・保護者の皆様のご出席のもと、入学式を行いました。在校生を代表して、生徒会長の入江義之君が温かい歓迎の言葉を、十一名の新入生を代表して片山莉世さんが、小学校時代

におばあちゃんの言葉から学び、中学校で決意したことを堂々と述べました。一部紹介します。

「・・・（中略）・・・
『努力する子にはかなわんとぞー。できんこつちやそのまんまにせんで、やらんばぞー』その言葉をもらって私は、『努力することをやめたらいけない』ことに気づき、自分の力を信じて頑張れるようになりました。中学校では、憧れの先輩方からたくさんのお話を学び、自分の中の『錬磨の心』をさらに磨き続けたいです。」

感動しました。まさに、さつきやま魂を实践する決意の表れでした。私は、式辞の中で、「さつきやま魂の实践と継承」とともに「夢や憧れを持ち続けてほしい」ということを話しました。これは、イチロー選手が引退会見で、「夢中になるものを見つけてほしい」ということから話したもので、夢や憧れを持つことは、大人になるためのエネルギーになります。一日も早く中学生としての自覚を持

た、「さつきやま魂」の思いを胸に刻んだ生徒になるよう願っています。新入生の保護者の皆様、今後ともよろしくお願ひします。



転入職員の紹介

始業式に先立ち、今年度崎山中学校に、勤務することになった三名の先生の着任式を行いました。それぞれの先生の挨拶の後、野口心太郎君が、気持ちのこもった歓迎の言葉を述べてくれました。



- 校長 山下敏成 五島市教委
- 教頭 片山重夫 五島市立福江中
- 教諭 藤尾和朗 五島市立福江中
- 他、新しい職員として
- 講師 本間直子（美術科）
- 講師 松崎麻理子（家庭科）
- スクールカウンセラー 田山彩

今年度の崎中全職員は、十六名となります。「チームさつきやま」で一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。

「笑顔・笑顔」の歓迎遠足

天気心配されましたが、昨日、予定どおり歓迎遠足を実施しました。生徒会の企画・運営で、宝探し等の歓迎行事が行われました。和気あいあいとした雰囲気の中で、一年生全員が楽しそうに先輩達と活動している姿が印象的でした。ここにも、「チームさつきやま」を感じることができました。校長は、箕岳の山頂に登り、景色を堪能しましたが、今朝から筋肉痛です。



【1】挨拶

縁あって、六年ぶりに崎中に勤務することになりました校長の山下敏成です。「再度勤務できたらいいなあ」と思っていたので、決まったときには大喜びでした。出身は岐宿です。崎中とは、中学時代に野球の決勝戦で対戦し敗退した思い出があります。すばらしい職員とともに一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

学校だよりのタイトルを、「まかせ、雄魂、崎中だより・・・」いろいろ考えましたが、やはり「さつきやま魂」しかないとの結論に至りました。子どもたちの活躍の様子を中心に掲載していきます。

